

「桜の樹」 ニュースレター vol 21

岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」 2023.4



ジンダイアケボノ 舎人公園

こんにちは。 関西の宮里すみ子です。

17日から19日までの二泊三日で沖縄に帰ってきました。私は兵庫県の出身なのですが、沖縄は6年半前に亡くなった夫の故郷なのです。

夫は四人きょうだいの末っ子として生まれました。大阪に働きに来ていて私と知り合い結婚、そのまま関西に暮らしました。

60歳で大腸に癌が見つかり69歳の初秋旅立ちました。最後の四カ月は高カロリー輸液で自宅で過ごし、家族、沖縄から来てくれた姉、兄に見守られながら幸せの旅立ちでした。

沖縄の姉達とは、夫亡き後も、いえ夫が居た時よりも更に強い絆で結ばれていて悲しみを共有し、お互いを思いやって今日まで来ました。私に癌が見つかり余命を告げられた時にまず考えたのが家族の悲しみでした。その次に考えたのが「沖縄の姉達に逢っておきたい」ということでした。これだけではどうしても叶えておかなければ心残りとして後悔することは分かっていました。家族とこの思いを共有し、先生に相談して治療を調整していただき、娘たちの奮闘で実現致しました。

白く果てしない雲海の上を、朝陽に照らされた飛行機の左翼が銀色に光っていました。美し過ぎて見ているうちに涙が流れて止まらなくて、死んでいる場合ではないと強く思いました。

沖縄の義姉の家に着いた時、夫の兄が門前で待っていて力いっぱい抱きしめてくれ、泣き虫義姉は必死で涙を堪えていました。

夫の生まれ育った本家に行き「うとつ」（仏壇にお参りする）をして姉の家に帰り姉が私達に食べさせたかった「沖縄ソバ」をいただいたり、翌日には総勢42名での大バーベキュー大会でした。

この帰郷の旅を実現に持って行ってくれた家族と、私の身を案じながら、いつも変わらない優しさと愛情で迎えてくれた沖縄の家族には感謝してもしきれません。本当にありがとう。体調も良く食欲もあり元気に行って来られたことに感謝します。

家族全員、12名の旅でした。



季節を感じる日本が好き ミニオン

春ですね。今まで寒いから家の中でカラダを小さくしていた日々。外にコートをぬいで飛びたい気分。お散歩しても 乗り物に乗っていても花や緑が飛び込んできます。忘れていました。「さくら」が咲きますね。全国の花前線。これをニュースで。開花。何日か。好きなんです。

靖国神社の境内の真真中に東京の標本木。この桜のつぼみがいくつか咲くと 東京は開花。ここを見に行ったことがあります。沢山の人が桜を囲み報道関係者も。今か今かと。春の到来を待ち望み。拍手で歓喜のオタケビを。

アレ。花より団子でしたか。

お酒。私も好きなんです。

さくら舞う下で 宴会。良いですね。

ちょっと離れた場所でカメラ片手にカシャ。カシャ。

日本人素敵な文化
持つてるよねー。

ミニオン撮影 「花まみれ」

春ですね。・*・



総勢42名での大バーベキュー大会。帰ってこられた今もあたたかく、大きな愛に包まれていることを全身で感じられているそうです！

おかえり〜すーみん

共にあること

凧ちゃん

手術後思うように動けず、長い時間をベットの上で過ごしていました。そんなある日、隣のベットから明るい声が聞こえて来ました。是非話をしたいと思い、私が恐る恐るカーテンの隙間から「少しお話し出来ますか」と声をかけると、「どうぞ、入って!」と笑顔で迎え入れてくれました。彼女はすでに2回癌の手術を経験していました。今回は転移で、胃を全摘する彼女の身体に負担の大きい手術でした。退院後もメールでお話ししたいとお願いしたら、「こちらこそ宜しくね」と言って電話番号を教えてくださいました。

退院後すぐに頂いた彼女のメールは、「家に帰っても、どうか無理のない様に」でした。知り合って間もない私を心配してくれる彼女の気持ちがひしひしと伝わり、本当に有り難く思いました。彼女の退院後、ほぼ同時期に半年の抗がん剤治療が始まりました。彼女が副作用が辛くて寝てばかりいる事、コロナで外出を控えている事、お花見は近所の公園で楽しんでいる話など近況を伝えてくれました。私は思う様に食事が取れない事、味覚障害の辛さを伝えました。彼女とのありのままのやりとりは、副作用で気持ちが沈みがちだった私の元気の源でした。

退院してもうすぐ2年になります。彼女は昨年末から免疫療法という治療を始め、副作用を心配していました。私からメールをするか、彼女からのメールを待つのか、迷っています。それでも心は共にありたいといつも思っています。

「思い出は美しすぎて」昭和の歌謡曲みたい ミニオン

かなり前にレコードの魅力にとりつかれてレコード磨きに奮闘している。とお話ししましたが10代のとき良く聴いていたレコードがありました。それをカセットに録音して楽しんでいました。それは友人から借りたレコードでした。友人に連絡したところ「人に貸して戻ってこないんだ」との話。やっぱりあのレコードが欲しい。と考えてから1年ぐらい。ぶらり入ったレコード屋さんにあったのです。ほとんど新品状態。当時の販売価格と同じぐらい。でも。でも。購入。

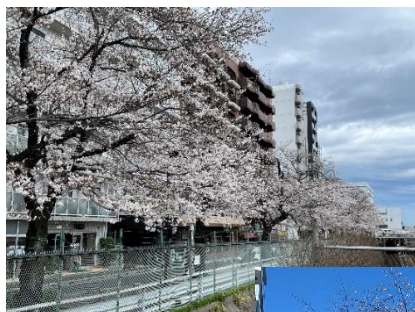
10代の自分が。良いことも悪い時のことも頭の中にくぐるぐると。レコードだけに。



千鳥ヶ淵 スタッフNさん撮影



ミニオンのレコード



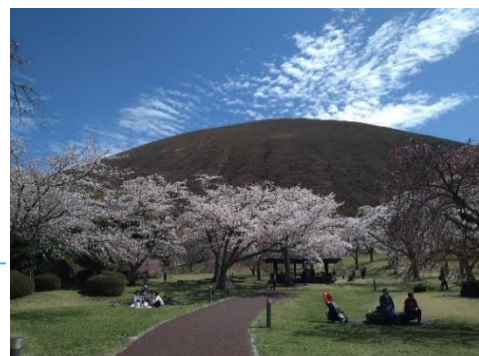
巣鴨桜並木

駅から巣鴨カフェの会場、巣鴨とさわ教会に行く途中にある桜並木です



編集後記 さくら

巣鴨カフェで迎える4回目の春です。今回も3名の方に原稿を寄せていただきました。いつもありがとうございます。今年は桜の開花が早く、咲いたら、雨の日も多くお花見のチャンスをつかみにくかった方もおられるかもしれません。私事ではありますが、当たり前の毎日が明日もやってくるわけではないことをあらためて思い知るような出来事がありました。多くの方が開花を待ちわび、散り行く日まで魅了されつづける花、桜! まだ場所によって、種類によっては楽しめると思います。舞い散る桜も葉桜も美しい! 人生思い出づくり! 今しばらく楽しみたいです。* * * 皆さんもぜひ~



伊豆にあるさくらの里、旅先からお写真いただきました!

編集：岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」 山本 ひろみ

gantetu_sakura@yahoo.co.jp <https://sugamo-sakura.com/>

後援：一般社団法人がん哲学外来